

内容

1. 今年度、認定資格を取得した2名の紹介 古澤亜矢子、村上閑香
2. 認定看護師からの活動報告 工藤紘子、伊藤尋美
3. 認定看護師委員会からのお知らせ



糖尿病看護認定看護師になって

糖尿病看護認定看護師 古澤亜矢子

当院で2人目の糖尿病看護認定看護師になりました。糖尿病は生涯にわたり治療を継続していかなければならない疾患です。患者さんは糖尿病を持ちながら生活の中で折り合いをつけて療養行動を送っており、患者さんを「生活者」として捉え、理解し、支援することが重要です。患者さんが少しでもセルフケア行動が継続できるように、専門性の高い知識と技術を用いて支援できるように取り組んでいます。

本格的な活動はこれからですが、認定看護師の役割である実践、指導、相談を通して院内全体の糖尿病看護の質の向上に繋がっていきたくと思っています。



集中ケア認定看護師になって

集中ケア認定看護師 村上閑香

当院で2人目の集中ケア認定看護師になりました。集中ケア認定看護師を目指した理由は、急性期領域で看護師として経験を重ねるうちに自分の看護を振り返るようになり、アセスメント能力に自信をつけ根拠をもって必要とされる看護を提供し、急性期の看護を充実したものにしたいと考えたからです。

集中ケア認定看護師の役割は、急性かつ重症な患者さんの急激な変化を予測し重篤化を回避し、予後や社会復帰を視野に入れた早期回復への援助や、生命に直結する治療などで不安を持つ患者さんやご家族へのケアを行うことです。集中ケアを必要とする患者さんは、生命を維持してい



くうで重要な呼吸や循環などの機能が手術や疾患などの影響で一時的に不安定であったり、身体的・精神的にも苦痛を感じています。そのため患者さんやご家族が安心して治療を受けられるように最善の看護ケアを提供していきたいと思っています。

NST講演会の開催

摂食・嚥下障害 看護認定看護師 工藤紘子

8月2日に中島病院と(株)大塚製薬工場共催のNST講演会で「ベッドサイドでできる実践的な嚥下評価・訓練」として講演させていただきました。参加者は50名で旭川市内の関連病院や施設の医師、看護師、栄養士、言語聴覚士が参加してくれました。

講演会では、摂食・嚥下障害看護は日々のベッドサイドでたくさんの観察と介入が可能なることを提示するために、実際にスクリーニング方法の一つとして反復唾液嚥下テストを体験してもらいました。他に嚥下障害があるときの状態を体験してもらうために、水分を実際に飲んでもらいました。口唇閉鎖が困難な場合での嚥下、無歯顎な状態を想定した歯を噛みあわせない状態での嚥下、舌を動かさない状態での嚥下など体験することで「飲み込むことがこんなに大変になるなんて思わなかった」という感想があり、理解を深めてもらったのではないかと思います。今回の講演会では、地域連携のため



の1つとなる他職種との顔の見える関係の第1歩となったと思います。今後も自分のできることは何かを一緒に考えていける活動を提示できるように実践していきたいと思いをしました。

救急対応訓練の実施

救急看護認定看護師 伊藤尋美

光学医療診療部・放射線部NSと造影CT検査中の急変対応訓練を7月に実施しました。一昨年に続いて2度目の開催です。今回は前回は上回る50名が参加してくれました。放射線科医師・看護師・放射線技師そして救急科の医師・看護師も参加しチームでの急変対応をシミュレーションしました。毎年開催して行きます！



認定看護師委員会からのお知らせ

認定看護師が行う在宅ケア移行支援について生涯教育講座を開催します。

日時:9月26日(金) 17:45~19:00

場所:臨床講義棟 第3講義室

講演:旭川医科大学看護学講座 在宅看護学教授 照井レナ

事例報告:脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 大宮剛

緩和ケア認定看護師 杉山久美

みなさんの参加をお待ちしております！！